



埼玉学習センター外観

放送大学  
埼玉学習センターだより  
2015年5月号  
(通巻35号)



荒川のポピー畑 (鴻巣市)

# さ き た ま



平成27年度第1学期 入学者の集い、渋谷所長挨拶



菅野前所長最終講義

## Contents

- P2. 着任挨拶
- P3. 退任挨拶
- P4. 生涯学習奨励賞受賞者
- P5. 生涯学習奨励賞・エッセイコンテスト受賞者
- P6. サークル紹介
- P7. 教務係/図書室・視聴学習室からのお知らせ
- P8. 各種お知らせ



国宝 歓喜院聖天堂 (熊谷市)

# 新任挨拶

## 事務職員交代

渋谷 治美 新所長

倫理学  
西洋倫理思想史  
総合人間学



放送大学埼玉学習センターに集い学ばれている皆さま、始めまして。この4月1日に、菅野先生の後任として、埼玉学習センター所長に就任しました渋谷治美（しぶや・はるよし）です。一言、新任のご挨拶を申し上げます。

まずはじめに、それぞれの皆さまが、生活上の、あるいはお仕事のうちでの諸条件があるなかで、放送大学で勉学なさる道をお選びになったことに対しまして、心から敬意を表します。哲学者のアリストテレスは主著『形而上学』の冒頭で、「人間は天性、〈知る〉ことを欲する」といっています。また近代哲学の父といわれるデカルトは『情念論』のなかで、人間にしか見られない固有の情念は「驚き」である、といっています。〈学びは驚きである〉ことは、皆さまご自身が実感なさっているところです。ですから皆さまは、古代と近代の代表的な哲学者がいうところの、人間としての特質を日々体現なさっておられるのです。

私自身は、これまでの（大学入学以来の）約50年を振り返ってみますと、「人間とは何か」を探求してきたと、いまでは思っています。専門領域は、倫理学、哲学、総合人間学ですが、少し具体的にいいますと、ドイツの哲学者カントの哲学・人間思想、イギリスの詩人シェイクスピアの作品から読み取ることのできる人間哲学、鎌倉期の二人の巨匠、親鸞と道元の仏教思想、を主に研究してきました。これらの学びを、サロンなどを通じて、少しでも皆さまに提供する機会が得られれば、と念じております。

放送大学には豊かなカリキュラムが用意されています。心理学、経営学、宇宙論、等々と、実に多様です。でも、それらすべてが、最終的には「人間とは何か」に収斂（しゅうれん）するといえるのではないのでしょうか。是非皆さまとこれから、「人間とは何か」を探求する旅を一緒に歩いていけたら、と希望しております。

事務長（H27年4月）

新任 渡邊 賢治 退任 平野 哲巳

総務係長（H27年1月）

新任 武笠 行祐 退任 島村 知伸

総務係員（H27年4月）

新任 福永 陽子 退任 目黒 恵美

図書室員（H27年4月）

新任 野村 節子 退任 川野 美代子

### ☆ 着任挨拶 渡邊 賢治

この4月から、放送大学埼玉学習センター事務長として着任いたしました渡邊と申します。埼玉学習センターは、全国50の学習センターの中でも、立地条件も良く、学園生活を過ごすには特に素晴らしい環境であると感じたのが第一印象です。このような環境の中で、皆さまが安心して学び、また、サークル活動にも打ち込めるよう職員一同力を合わせてサポートしていきたいと思っております。なお、これまでの固定観念にとらわれず、時には、もの見方を変えながら取り組みたいとも思っています。

皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

### ☆ 退任挨拶 平野 哲巳

前事務長の平野です。この4月から埼玉大学に勤務しています。埼玉学習センターでの勤務は3年間でしたが皆さまには大変お世話になりました。ありがとうございました。入学者の集い、卒業式・学位授与式、埼玉フェスタ、学生研修旅行など、埼玉学習センターでの催しがつい昨日のことに思われます。そして多くの方と知り合うことができ、良い経験をさせていただきました。埼玉学習センターの益々の発展と、皆さまのご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

### ☆ 退任挨拶 目黒 恵美

5年間ありがとうございました。特に当初3年間CS C交流会の業務を担当し、各サークルや同窓会の方々には大変お世話になりました。皆さまのやる気と元気に圧倒されながら、フェスタの開催や学生新聞の発行に向けて活動したことが良い思い出となっております。これからもお元気で過ごしてください。埼玉学習センターの益々の発展と皆さまのご健康をお祈りしております。

# 退任挨拶

菅野 峰明 前所長

人文地理学  
地誌学



私の出身地が大きな被害を受けた東日本大震災直後に慌ただしく埼玉学習センター所長に就任して、4年が経過し、3月31日付けで所長を退任しました。平成23年度1学期の入学者の集いの挨拶の中で、私は、津波の高さは想定を超えるものであったという説明があったが、過去にあのような大きな津波があったことはこれまでの研究で指摘されていて、このような大きな津波への対策がとられてこなかったことを述べました。つまり、知見は不変ではなく、学問の進歩とともに深化し、我々はそれらを知的財産として共有して、有効に活用しなければならないということをお話しました。

放送大学の学生の中には、大学時代そして仕事の中で深い知識を身につけていながら、さらに新しい知識を求めて学んでいる学生が沢山います。常に新しい知見を求め、面接授業では講師に真剣に質問する学生もいます。学生の皆さんはそれぞれ放送大学で学ぶ目的を持ち、熱心に勉学に取り組んでいる姿には感心しました。

所長としての大きな仕事は学習センターで開講する面接授業科目を決めることでした。面接授業は教養学部の6コース（2012年度までは5コース）に対応した専門科目を準備しなければなりませんでしたが、その他に基礎科目としての外国語、共通科目としての人文系、社会系、自然系、外国語系の科目を備える必要がありました。私1人ですべての分野の面接授業担当者を探すことはできませんでしたので、客員教員の先生方にそれぞれの専門分野を中心にして、面接授業担当者を推薦してもらって、各学期の面接授業科目を決定しました。

私自身も面接授業を担当しましたが、教室での授業だけではなく、2013年度にはアメリカ合衆国において面接授業を実施しました。アメリカ合衆国南部のジョージア州とフロリダ州を貸切バスで移動しながら、6泊8日で現地の自然、歴史、社会、そしてコミュニティを説明する面接授業は好評でした。この授業に続いて、2014年度には岩手県南部を巡って城下町一関、北上川の水害、東日本大震災の津波の被災地、遠野の民俗、骨寺村の荘園遺跡、平泉の毛越寺・金色堂を見る面接授業を実施しました。これらの授業の履修者の平均年齢は60歳を超えていましたが、現地で学ぶこのような面接授業をもっと増やしてほしいという要望が多くありました。

学習センターとCSC交流会が中心となって毎年開催している埼玉フェスタでは代表と実行委員の方々にはお世話になりました。このフェスタに参加したサークルの活動紹介では熱心な活動がはっきりと分かるデモンストレーションがありました。埼玉フェスタにおける放送大学学長や副学長の講演会の後での講師との茶話会や懇親会は放送大学の管理職へ学生の声を届ける良い機会となりました。

埼玉学習センターの公式行事として開催される卒業証書・学位記授与式においては、自分自身の仕事、子育て、病気、親の介護などで忙しい生活をしながら勉学を続け、時には休学をして卒業した学生たちに称賛の言葉を贈りました。

私よりも高齢と思われる卒業生、修了生もいて、それらの人びとに対しては努力を称える言葉を惜しみませんでした。放送大学は生涯学習機関なので、また戻ってきて学ぶことも奨励しました。

私も放送大学の学生のように生涯学習の態度を持ち続けて、これからも地理学だけではなく、関心のある分野の学習、研究を続けて行きたいと思っています。

皆様のご健勝と埼玉学習センターの一層の発展を祈念いたします。



# 平成26年度第2学期 生涯学習奨励賞

## 2014年度 エッセイコンテスト

埼玉学習センターでは、複数の専攻・コースを卒業・修了された方に対し表彰する制度「生涯学習奨励賞」を設けております。  
平成26年度第2学期卒業・修了生からも23名の方が表彰されました。  
また放送大学の学生を対象とした2014年度放送大学エッセイコンテストにおいても、埼玉学習センター所属の学生が入賞されました。  
皆様、誠にありがとうございます。  
それぞれの受賞者の方々からコメントをお寄せ頂きましたので掲載いたします。

金

### 充実した通過点としての 五回目の卒業に感謝

奥田 征雄

この度五回目の卒業証書、と埼玉学習センターの金賞を頂きました。初めに受講したのは科目履修生として『共生の時代を生きる'00』でした、定年退職も近づき放送大学に入学しました。特記は『自己を見つめる'02』の講義です。当時の私は定年で職からはなれやうつつ気分の中にあったように思います、しかしこの講義で救われたものと思っています。その後、体育実技をきっかけに地域でのバドミントンクラブを立ち上げ活動は10年を経過、また環境関連の受講経歴から市の「環境基本計画」の審議委員の経験もしました。今後は今まで受講した内容の見直しを行いつつさらに勉学を継続したいと思います。

金

### 卒業と入学を迎えて

若松 豊

「日本には約10万人イスラム教徒がおり平穩に暮らしている。」島国日本は排他的経済水域を含めれば国土が広がり、資源大国にもなりうる。放送授業を視聴して、イスラム教への偏見が緩み、国土の狭い資源少国という固定観念が揺らぎ、学歌の「知ることはよろこび」を実感する。学びの中で、日々私の何かが壊れ、何かが創られていく。

学習センターに出向けば、高齢ながら学習にもボランティア活動にも励む方から刺激を受ける。千年前の『源氏物語』を熱く論じる仲間がいる。心理学者ユングは「人生の自然な終点は老いではなく叡智である」と述べている。遙か彼方の及ぶべくもない目標であるが、蝸牛の歩みを続けたい。

銀

### 自分のペースで学ぶ

川崎 孝

学習センターに行くのと励まされた。学生一人ひとりの真剣な表情に圧倒されたが、勉学意欲が高揚し、「やるぞ」という向学心が燃え上がった。放送大学は、生涯学習の一環として始めた。学友とは試験期間にひと時挨拶を交わすが、「よろしいですか」「どうぞ」温かさが伝わってくる。何事でもそうだが、試験に向けた日々卒業を夢みるといつもワクワクした。自己啓発として生涯現役で学ぼう、きっと幸せを運んでくれますようにと思う。自分の生き方が子供や孫への最良の教育になる。「じじ」が歩んできた道をいつか思い出して欲しいと思う。座右の銘は、人生の本舞台は常に将来にあり。憲政の神様尾崎行雄の教えです。

銀

### 偉人の教えに学ぶ

大竹 紀夫

電車の中吊りキャッチコピーの表現を借りれば、「私も生涯学習奨励賞（銀賞）を貰えました」。尤も、在学期間が長いので、自分では、まあまあかな位に考えていたところ、岩波英和辞典を編纂された田中菊雄著の「どう生きるかを考える書」という本を読んで衝撃を受けました。

先生は、高等小学校中退だけで、旧制中学の先生となり、更に旧制高校、戦後は大学で教鞭をとられ、ほとんど独学で「岩波英和辞典」をつくられた方だそうです。この方は、自己修養によって自らを築いた人として今なお畏敬されている由。先生のすさまじいまでの努力精進、生き方・考え方を、爪の垢ほども学びたいと考えているところです。奨励賞を頂いたことが、よい契機となりました。

銀

### 面接授業で貴重な体験

宇佐美 勝

定時制高校へ通学したのはもう50年以上も昔のことになりました。学業には縁の無い人生とと思っていましたが、引退が近づくにつれて「もう一度きちんと勉強したい」との思いが募り60歳で、放送大学に入学しました。爾来10年、続けてこられた原動力は面接授業でした。特に屋外での授業は楽しいものです。秩父の地質学実習、尾瀬の環境調査、上越国境のブナ林での植林、・・・等など、素晴らしい思い出となりました。参加出来ない事情のある方も多いたと思いますが、放送授業にはない温かさがあります。何とか工夫して参加されることをお勧めします。どこかでお会いできるといいですね。

銀

### 知る喜びとともに

小川 ふみ江

初めて放送大学で科目履修生として学んだのは、一番ヶ瀬康子先生の「児童の福祉」でした。以来、その時々に関心のある科目を、仕事や家事の合間に少しずつ学んできました。当初「卒業」は遠いかなたにあり、そこまで行けるとはとても考えられませんでした。けれど「継続は力」。ある時思い切って全科履修生となり、長い道のりを経てようやく「生活と福祉コース」卒業に到達することができたのです。

その後、なお学び残したのものがあるとの思いもあり再入学し、少しずつですが学びを継続。そこに「知る喜び」が感じられる瞬間があることがその原動力となっているのかもしれない。退職後、老親の介護も加わり条件は厳しくなりつつありますが、もう少し学び続けてみようと思っています。

## 放送大学での 学習の楽しさについて

内島 豊

平成6年に初めて放送大学に入学してから、今回は4回目の入学になります。医師として本業の忙しさのなかで、放送大学で学習することは、オアシスの中で貴重な水を飲むほっとする時間です。自分の経験していない分野での学習は楽しく、例えば宇宙の話では教材から発展して、オリオン座のペテリギウスが超新星爆発してしまったのでは？と参考文献を読んだり、記号論理学の学習では、「記号論理学入門」や「論理学をつくる」などを読み漁ったり、データマイニングの学習では「RIによる統計学」、「データマイニング入門」などを読んだりして、実際にPCでR言語の体験し、映像メディアとCGの基礎の学習では市販(無料)の3Dソフトを使用して、立体画像(前立腺の形)を作って楽しんでます。

放送大学の学習には、教材から発展した楽しみを見つけることが、学習の持続につながると思い、これからも楽しく、学習を続けるつもりです。

## 放送大学に学んで

浜田 正晴

このたび「心理と教育」を卒業することができまして、生涯学習奨励賞の栄誉を賜りました。これも偏に家族の理解と、学びの仲間の支え、大学のスタッフのみなさんのお陰と感謝しています。私は、現在63歳をすこし過ぎ、第二の人生を、米づくり、ボランティア活動、そしていくつかの趣味を楽しんで過しています。最近、本を読む機会も増え読書の面白さを知り、世の中には人のために凄い生き方をしている人、過酷な社会の中で生きている人がいたり心に味わい深い感銘を受けています。私も、健康第一、少欲知足でこれから、〇〇の達人、を目指して少しずつ歩んで行きたいと思えます。それから、学びの中(面接授業)で声を掛けていただいた人間的に素晴らしい、憧れの先輩がおります。これからも先輩を見習いもっと人間性を磨き、深い学びを続けて行きたいと思えます。ワクワクするような学びっていいものですね。

## エッセイコンテスト

佳作

後退り気味になっていた  
自分に「喝！」を

岡里 順子

3月27日大学本部で行われたエッセイコンテストの授賞式は、喜びと同時に励みになりました。昨年3月の学位記授与式での学長式辞で「本学で取得した知識を、社会貢献や地域貢献といった活動で社会に還元を」との岡部学長の言葉が、印象に残っていました。私は放送大学で「福祉」と「市民活動」関連科目を学びましたが、それを社会還元したかと自分に問うと、答えは「否」でした。私の障害者施設でのボランティア活動は、机上の学びでは得られない介護技術と福祉の現状を学ばせていただいたのであって、社会還元はしていなく、宿題として残っていると思えました。以後、「社会・地域貢献」をどのようにと模索していました。

### 【エッセイコンテストについて】

放送大学では、本学の全学生を対象に、日頃から自分の考えていることや感じたことなどをエッセイを通して表現すること、並びに学生の皆さんの意見や主張をエッセイを通じて本学の学生や教職員、関係者をはじめ広く社会に発信することを目的として、テーマを設けて2008年度より毎年実施され、昨年度で第7回を迎えています。選考によって毎回10名程の受賞者が選ばれていますが、埼玉学習センターからはこれまでに全国最多となる6回8人の受賞者が生れています。

受賞作品は、[放送大学ホームページ](#)>大学からのお知らせ>、ご覧いただくことができます。

## 生涯学習奨励賞受賞者

〔金剛賞〕	2名				
福田	暉	様	横川	淑子	様
〔金賞〕	6名				
奥田	征雄	様	浜田	正晴	様
島田	昭三	様	小林	文夫	様
若松	豊	様	川口	英昭	様
〔銀賞〕	15名				
根本	総一郎	様	真島	滉子	様
宇佐美	勝	様	内藤	邦夫	様
齋藤	佳苗	様	馬場	輝夫	様
秋山	文子	様	内島	豊	様
野中	克芳	様	福島	薫	様
小川	ふみ江	様	長谷部	隆雄	様
大竹	紀夫	様	川崎	孝	様
川井	悦子	様			

## エッセイコンテスト受賞者

〔佳作〕 1名  
岡里 順子 様



エッセイコンテストへの応募の動機となったのは、募集の記事と同時期に地域の広報紙の「ことぶき大学」学生募集の記事でした。コンテストのテーマである「放送大学の学びを生かした私の地域貢献」と、高齢者を対象の「ことぶき大学」がドッキングして、私の宿題である「社会還元」が出来るのではないかと、地域の生涯教育担当部署へボランティアの申し出をして、そのやり取りの経過を綴ってコンテストに応募したのです。

授賞式後の学長との懇談の中で、放送大学が学生の社会貢献を期待していることが分かり、このところ「もう歳だから」と後退り気味になっていた自分に「喝！」が入りました。地域の生涯教育担当者とのやり取りの中で、「前例がない」との言葉にもめげなかった当時の自分を思い出して、奮起することが出来たことを感謝しています。

# サークル紹介

## バランス体操 “悠悠”

代表者 及び 連絡先  
赤木 美恵子  
(090-4417-3253)

「バランス体操“悠悠”」は、平成23年8月に「悠悠クラブ」の名称で発足し、その後平成26年4月に現名称に変更しました。総会員数は16名です。変更理由は、当初、活動内容が分かりづらいとの声が上がったことと、人体には、“バランス”がいかに大切かということを強調した体操をメインにしているからです。設立の目的は、世界に誇る長寿国日本で、平均寿命よりも健康寿命の方に目を向けて、長寿を全うするまで自分の足で歩きたい。その理想に少しでも近づけるように楽しく体力づくりを仲間と続けたいとの思いからです。屋外のウォーキングは爽快ですが、屋内でも種々のバリエーションを取り入れたウォーキングで気持ち良い汗をかいています。呼吸ストレッチ体操では、運動感覚を適度に刺激し癒されながら、正しい姿勢、筋力維持・アップを目指しています。

練習は、毎週金曜日・月4回と定めていますが、都合で月1回しか参加できない方も、その日は思う存分体を動かす楽しさを満喫していただいています。筋肉は日増しに衰退し、老化を完全に回避することはできませんが、それでも、日々の体力づくりの努力は必ず生かされるものと信じています。どなたでも、いつからでも始められる“い(良)い加減”がモットーの“悠悠”で心身をリラックスさせ健康ライフスタイルを目指して私たちと楽しい時を共有してください。

練習日 毎週金曜日・午前10時30分～12時  
(埼玉学習センター8F 講堂)



## 埼玉英語倶楽部

代表者 及び 連絡先  
田村 稔  
(048-735-7158)

「中学校で英語を始め、長い間勉強してきたが、英語が使えない」とよく耳にします。その理由はたくさんありますが、そのうちの 하나가英語を使う環境にないからです。そこで楽しみながら英語に接する集まりが埼玉英語倶楽部です。現在会員数は37名です。火曜と木曜の午前と午後の計4回のクラスを毎週開催しています。時間の都合やそれぞれのレベルに合ったクラスを選べます。

火曜午前はNHKで放送した「ラジオ英会話」と「英語ニュース」を使い、聞き取る力をつけるクラスです。ナチュラルなスピードに慣れることを目指しています。

火曜午後は、NHK「おとなの基礎英語」と「100回音読」を教材として会話に向けて準備する初級クラスです。英語に再度挑戦しようとする人たちもいます。

木曜午前は、第一週目に英国人講師による英会話の練習をしています。そして隔月の第三週目は会員が書いたエッセイを講師が添削したものを説明してもらい、表現の仕方やネイティブの考え方を学んでいます。

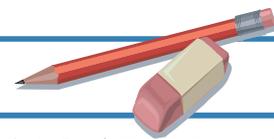
本年はこれまでに書いた英文エッセイ集(第3号)を刊行することで取りすすめています。それ以外にリスニングの練習や会話のための勉強など英語力全般の向上を目指しています。

木曜午後は聞き取り、読解力、文法の勉強をするとともに、茶道や五重塔など日本の文化を英語で紹介することを学んでいます。

良い友人のつながりを作りながら、一緒に勉強しませんか。



## 教務 平成27年度第1学期単位認定試験について



- ◆ 大学院の試験  
平成27年7月24日(金)～25日(土)
- ◆ 学部の試験  
平成27年7月26日(日)～8月2日(日)  
\* 7月27日(月)及び7月31日(金)を除く

- ・ 本部から直接送付される受験票で、科目・日時・試験室等を確認し、同封の「単位認定試験受験に際しての注意事項」をよく読んで受験してください。
- ・ 再試験の受験となる場合に、平成27年度第1学期に新たに登録した科目と再試験科目が同一試験日・時限となる場合は、いずれか1科目を選択して受験することとなりますので注意してください。

## 教務 平成27年度第2学期科目登録について

科目登録申請(※)は“インターネット(システムWAKABA)”か“郵送”のどちらかになります。

【申請期間】

- ◆ インターネット 平成27年8月15日(土)9:00～8月31日(月)24:00まで  
(システムWAKABA) \* インターネット申請に限り、期間中の科目変更(追加・削除)が可能です。
  - ◆ 郵送 平成27年8月15日(土)～8月30日(日)本部必着  
\* 郵送申請後は、科目変更(追加・削除)ができませんので注意してください。
- ※ 詳しい申請方法等は「科目登録申請要項」「放送大学ホームページ」でご確認ください。

## 教務 郵送(第四種郵便)による放送教材の貸出について



埼玉学習センターでは、郵送による放送教材の貸出しを行っています。  
ご希望の方は、下記の要領で手続きしてください。

対象者：埼玉学習センター所属の学生(休学中及び貸出放送教材の返却延滞者のご利用できません。)

貸出範囲：履修している科目・再試験科目(閉講科目は除く)

(試験期間終了後から期末図書閉室期間前日までは、全ての科目を借りることができます。)

貸出巻数：3巻まで

貸出期間：センター発送日からセンター到着日含めて9日間

送料：往復分とも申込者(学生)の負担

申込方法：「郵送(第四種郵便)による放送教材貸出申込書(※)」に必要事項を記入し「学生証の写し」を貼付のうえ、送料分の切手を同封し埼玉学習センターへ送付してください。

※「申込書」は埼玉学習センターのホームページからダウンロードできます。

## 図書 図書室・視聴学習室の利用について



- ◆ 図書室・視聴学習室をご利用の際は、**学生証を提示**してください。
- ◆ **学習に必要なもの以外は持ち込みできません。鞆や飲食物の持ち込みは禁止です。**  
荷物が多い場合は、カウンターでビニールの手提げ袋を貸出していますので係員にお声掛けください。
- ◆ 貸出図書の**返却期限は厳守してください。**更新を希望する場合、またやむを得ず返却日に間に合わない場合は、早めに連絡してください。**延滞中の場合は、返却されるまで本部及び全ての学習センターからの新規貸出サービスが受けられなくなりますので注意してください。**
- ◆ 7月24日(金)から単位認定試験が始まります。**下記の期間は貸出停止となりますので注意してください。**  
【図書資料】平成27年7月10日(金)～8月2日(日)まで  
【放送教材】平成27年7月17日(金)～8月2日(日)まで
- ◆ 9月16日(水)～19日(土)は学期末図書整理作業のため、図書室・視聴学習室は閉室になります。作業と併行して、9月16日(水)～10月6日(火)までの期間、図書・放送教材とも貸出停止となります。
- ◆ 放送教材・図書資料等の時間外返却用として、10Fエレベーターホール(東側)にブックポストを設置していますのでご利用ください。**学習センターの閉所時間から翌日開所時間まで利用できます。**  
\* **放送教材をブックポストへ返却する際は、必ず「学習センター利用の手引き」を添付してください。**

# 学生募集



## ●平成27年度第2学期放送大学学生募集

平成27年度第2学期教養学部「全科履修生」「選科履修生」「科目履修生」及び大学院文化科学研究科「修士選科生」「修士科目生」の学生募集を下記の日程で行います。皆さんの友人・知人の蟻様に放送大学の素晴らしさ学ぶことの楽しさを広めて頂き、一緒に学友になりませんか。

出願方法は、インターネット または 郵送（本部）のいずれかになります。

### 【第1回募集】

インターネット出願 平成27年 6月15日(月) ~ 8月31日(月)

郵送出願 平成27年 6月15日(月) ~ 8月31日(月) 必着

### 【第2回募集】

インターネット出願 平成27年 9月1日(火) ~ 9月20日(日)

郵送出願 平成27年 9月1日(火) ~ 9月20日(日) 必着

\* 予定（詳細は募集要項または、放送大学ホームページ等でご確認ください。）

## ●平成28年度修士全科生・博士全科生募集（大学院）

平成28年度「修士全科生」「博士全科生」の学生募集も開始されます。

出願期間 平成27年 8月中旬 ~ 8月下旬

\* 予定（詳細は募集要項または、放送大学ホームページ等でご確認ください。）

\* 上記の募集要項配布は6月中旬からです。詳細は事務室にお問合せください。



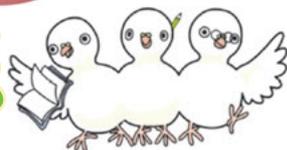
友人・知人等  
をご紹介ください！

友人・知人の方たちと一緒に学びませんか？

紹介いただいた方が埼玉学習センター所属で入学された場合、ご紹介の方に薄謝を進呈いたします。

（詳しくは10階窓口まで）

# オープンキャンパス



埼玉学習センターでは、下記の日程にてオープンキャンパスを開催いたします。友人・知人の方々に、放送大学に興味をお持ちの方がおられましたら是非ご案内ください。参加の申込みは電話又は事務室窓口でお受けいたします。

なお、当日直接お越しの方もご参加いただけます。

- 内容 ◆ 放送大学概要説明  
◆ 卒業生体験談  
◆ センター見学  
◆ 個別相談  
◆ 面接授業見学 ※

第1回 平成27年 7月19日(日) ※

第2回 8月8日(土)

\* いずれも 14:00 ~ 2時間程度を予定。

なお、学生募集期間中は個別相談のみの受付も行っていきます。ご希望される方は事前に電話でご予約ください。

※ 面接授業見学は第1回のみの実施となります。

# 公開講演会



## 「一般公開講演会」・「サロン」開催のお知らせ

埼玉学習センターでは、本年度も在学生の方のみならず一般の方も対象とした各種の一般公開講演会や、客員教員によるさまざまなサロンを企画し、ホームページ（この学習センターについて>公開講演会・オープンキャンパス>）でご案内しています。

是非一度、下記のホームページをご覧頂き興味のある講座が見つかりましたらご参加ください。参加を希望される場合は電話で事務室へお申し込みください。

各講座毎に受講定員があり、先着順での受付となりますのでご注意ください。

現在ご案内中の主な講座（企画が決まり次第順次ホームページに掲載されます。）

- ◆ サロンあんどろ … 平成27年6月9日(火) 「ロンドンの鉄道事情一駅めぐりから見えてくるもの」
- ◆ サロンながさわ … 平成27年6月14日(日) ティータイム科学談話会「酸と塩基」
- ◆ 一般公開講演会 … 平成27年6月21日(日) 「シェイクスピアの魅力(仮)」 渋谷治美(埼玉SC所長)

埼玉学習センターに関する情報は、ホームページでいち早くお知らせしています。是非、ご覧ください。

<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/saitama/>

〒330-0853 さいたま市大宮区錦町682-2  
大宮情報文化センター内（受付：10階）

放送大学埼玉学習センター

TEL 048-650-2611 FAX 048-650-2615

